

639号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2022.8.10

和牛オリンピックへの出品牛決定！ ... 1
「とやま和牛 酒粕育ち」が ついにデビュー！！ 2
野生いのししの豚熱確認が 県西部で相次ぐ..... 3
和牛の遺伝資源を保護するために 3
乳牛の飼料と疾病の関係 4

豚熱の発見と防疫のポイント 4
カラス対策 Q & A 5
獣医学生が家保業務を体験 5
防疫情報 6
第63回全国家畜保健衛生業績発表会 への選出演題決まる 6
お知らせ 6

和牛オリンピックへの出品牛決定！



審査の様子

令和4年10月6日～10日に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会（全共）への出品牛選定のため、8月1日に第2回現地調査が実施されました。全共は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会で、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。富山県からは、肉量・肉質・美味しさを審査する「肉牛の部」の第8区（生後24カ月齢未満の去勢肥育牛）に出品が予定されています。

当日は3農家7頭の出品候補牛が審査され、関係機関で発育測定を行い候補牛の体型審査を実施しました。審査の結果、出品牛の中で発育及び体型が優れていた、(有)池多ファームさんの「百合20」と柏慶太さんの「花姫1520」の2頭が県の代表牛として選ばれました。富山和牛の素晴らしさが、全国に広く知れ渡ることを期待しています。

(西部家保環境課 田知主任)

「とやま和牛 酒粕育ち」がついにデビュー！！

1 「とやま和牛 酒粕育ち」とは

「とやま和牛」の新たなブランドとして「とやま和牛 酒粕育ち」がデビューしました。このブランド牛は、県内で12カ月以上飼育され、最長飼養地を本県とする黒毛和種、県産の酒粕を出荷前3カ月以上給与、(公社)日本食肉格付協会の実施する牛枝肉格付規格の4等級以上、のすべてを満たすものとして、新たな名称とロゴデザインとともに、県内の小売店や飲食店で販売・提供されることとなりました。

その肉質・食味は、県外産和牛と比較し、“ジューシー”で“やわらかく”、“脂の甘みが強い”という評価をいただいています。(一財)日本食品分析センター及び富山短期大学による官能評価の結果)

2 これまでの歩み

「とやま和牛」は、令和3年の「A5」比率は約74%で全国2位と、トップクラスの品質を誇っているものの、知名度の向上が課題となっています。

そこで、県では、「とやま和牛」の食味とブランド力向上に向け、富山らしい新たな飼料として「酒粕」に着目し、県酒造組合と県肉用牛協会との連携のもと、令和2年度から、酒粕を入れた飼料の開発や生産農場における給与実証、肉の官能評価のほか、PRイベントの開催や、試験販売などに取り組んできました。

こうした活動の結果、「とやま和牛 酒粕育ち」のA5比率は87%とさらに肉質が向上し、今年度の出荷頭数は200頭にまで増加する見込みとなりました。

3 「とやま和牛 酒粕育ち」の発表会

7月19日(火)、県とJA全農とやまの共催で、名称・ロゴデザイン発表会を富山市内のレストランで開催しました。多くのマスコミ取材もあり、注目度の高さがうかがえました。

ロゴデザインは、酒粕を食べて育った和牛をイメージしたシルエットに、原料の酒米の「米」の文字を放射線状にデザインし、8つに分割された部分は肉質等級が5等級と格付けされる肉の色を表しています。

また、発表会では、県内の著名なシェフ3人による趣向を凝らした料理の提供もあり、参加者からは一様に、「感動の味」「風味が素晴らしい」など感嘆の声が聞かれました。

横田副知事からは「県産和牛はトップクラスの品質を誇る。富山のブランドの中心になっていくはず」、また、JA全農とやまの細田会長からは「皆さんの協力を得ながら販売展開していきたい」とのコメントがありました。



試食会で提供された料理

4 これからがスタート！

7月22日(金)には、発表後初めての枝セリであるJA全農とやま主催の夏季枝肉共進会が開催され、最優秀賞に(有)池多ファームの「とやま和牛 酒粕育ち」が選ばれ枝肉単価は3,009円/kgの最高値で落札されました。

今後、県内の精肉店や飲食店で販売される予定となっており、その情報は全農HPで紹介されています。是非ご賞味ください。



詳しくはコチラ

(農業技術課畜産振興班 高平副主幹)

野生いのししの豚熱確認が県西部で相次ぐ

1 県内野生いのししの豚熱確認状況

本県の豚熱陽性野生いのししは、令和元年7月27日に富山市で初確認以降、令和2年10月までに80頭の確認がありました。その後、陽性個体は確認されていませんでしたが、令和4年5月31日に氷見市で捕獲された野生いのしし1頭が1年7か月ぶりに豚熱陽性と確認され、8月3日までに高岡市、小矢部市でも確認されています（令和4年4月以降6頭）（関連記事6ページ）。また、野生いのししへの感染は、隣接する石川県の金沢市や中能登町でも確認されています。

2 対策強化

本県では、全ての豚等飼養施設において豚熱ワクチンを接種し、ワクチン接種済みの豚を導入していますが、11のワクチン接種県において24事例の豚熱が発生しています。このことは、ワクチン接種前かワクチンにより有効な抗体を獲得する前の豚が豚熱に感染していると考えられます。養豚農家の皆様には、農場周囲の野生動物侵入防止柵を点検していただき、破損箇所の修繕や柵の周りの除草及び石灰散布により野生動物の衛生管理区域内侵入を防止するとともに、農場に出入りする車両や人の消毒等、飼養衛生管理基準の遵守を引き続きお願いします。



豚熱陽性いのしし確認地点と感染確認区域

（西部家保防疫課 蓮沼課長）

和牛の遺伝資源を保護するために

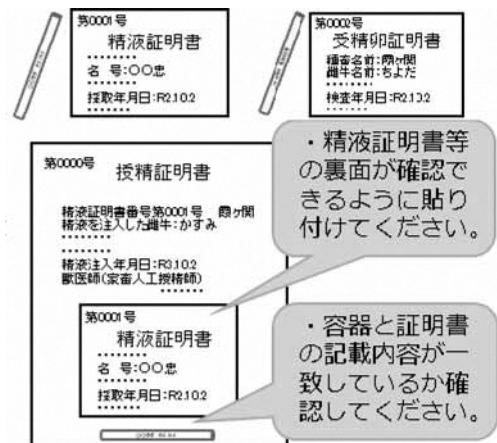
「家畜改良増殖法」及び「家畜遺伝資源に係る不正競争防止に関する法律」に基づき、家畜人工授精所に対し、国による立入検査が実施されています。本県でも今年度は7か所の立入検査が計画されており、6月には3か所で検査が実施されました。

家畜人工授精用精液や受精卵を取扱う方、また、家畜人工授精師や獣医師の皆さまにおかれましては、改めて以下の事にご注意いただきますようお願いいたします。



立入検査の様子(精液の在庫管理の確認)

- (1) 家畜人工授精用精液・受精卵証明書の裏面の記載事項（譲渡・経由の確認欄）の正確な記載
家畜人工授精用精液・受精卵ストローを譲渡・経由する際は、譲渡者及び譲受者の情報を証明書裏面に必ず記載してください。
- (2) 家畜人工授精用精液・受精卵と証明書の一体的な取扱い
家畜人工授精用精液・受精卵ストローのみ又は証明書のみでの譲渡はできません。
- (3) 家畜人工授精簿への記載と保管
家畜人工授精、受精卵移植を行った際は、家畜人工授精簿に記載し、使用済み精液・受精卵証明書と一緒に5年間保管してください。
- (4) 家畜人工授精証明書・受精卵移植証明書の適切な保管
家畜人工授精証明書を交付した場合は、その写しを5年間保管してください。



（農業技術課畜産振興班 岩本主任）

乳牛の飼料と疾病の関係

人にとっても動物にとっても辛い気候が続いていますね。牛も今は必死に耐えています。急激な気温の変化で体調を崩しやすくなっています。疾病発生を予防するためにも飼養衛生管理はもちろん重要ですが、飼料と疾病も密接に関係しています。適切な栄養の摂取・ルーメン発酵の安定化により疾病の予防が期待できます。以下はその一部です。

第四胃変位

主に分娩に起因しますが、低Ca血症や繊維不足、濃厚飼料多給によりルーメン内での発酵が上手くいかず、揮発性脂肪酸 (VFA) が貯留し、第四胃運動が停滞することで発生します。

牛群全体での発生率が4%以下に抑えられていることが望ましく、10%以上になってくると場合には分娩前の飼料設計を見直すことが必要かもしれません。

成牛におけるサルモネラ症

溶解性たん白質の多給が原因の一つとされています。

通常、第一胃内のpHは6.0~7.0であり、サルモネラ属菌の発育至適pHはpH6.8~9.2なので、サルモネラ属菌が牛に経口摂取されてもルーメン内で増殖することはできません。しかし、アンモニア等の溶解性たん白質を多量に摂取することによりルーメン内のpHがアルカリ側に傾き、サルモネラが増殖するのに最適な環境となってしまいます。この状況でサルモネラが体内に侵入した場合、感染・発症します。溶解性たん白質は水分量の多いサイレージ等に多く含まれており、第一胃内の微生物に最も早く利用されるためルーメン発酵には必要なものですが、多くなりすぎると利用しきれず肝臓への負担も増えるので注意が必要です。

このように飼料と疾病には密接な関係があるため、「餌を変更しましょう、見直しましょう」と言いたいところですが、今は「飼料の不足、価格の高騰により良質な餌が手に入りにくい」と、どこに行っても同じ声が聞かれます。対応が厳しい情勢だとは思いますが、見た目には明らかなカビが生えているものは与えないでください。少しなら大丈夫あるいはもったいないと思われるかもしれませんが、牛が一度体調を崩すと後々の生産性にも響いてきます。牛も美味しくない餌は食べたりしません。それしかないとならば仕方なく食べますが、食欲が落ちたり軟便になったりしている原因が暑さのせいだと思込まず、違和感があれば必ず確認してください。飼料タンクの内部がカビで汚染されている場合もありますので、濃厚飼料が灰色や緑色に変敗していないかをチェックし、防げる場所で対応していきましょう。

(西部家保防疫課 増永主任)

豚熱の発見と防疫のポイント

豚熱ウイルスに感染した豚は白血球減少によって免疫能が低下、そこに他の病原体が感染(二次感染)することにより重症化して、一般的にみられる特定症状やパイルアップだけではなく、様々な症状を呈します。

例えば、肺炎を引き起こす病原体がまん延する農場では肺炎症状が、下痢の病原体がまん延する農場では下痢症状が現れるなど、豚熱の症状はその農場における病気の発生傾向の影響を受けます。一方、衛生状態の良い農場では、豚が豚熱ウイルスに感染していても症状を示さないことがあります。このように、豚熱の症状は農場により様々なため、症状のみで豚熱を発見することは困難ですが、妊娠母豚の異常、事故率の上昇、ひね豚の発生を群単位で観察し、複数頭に異常がないかを確認することがポイントです。

また、これまでの豚熱発生農場において、畜舎入口の交差汚染、消毒方法、農場内における猫の存在の3点のいずれかで飼養衛生管理基準の不遵守が指摘されていることから、これらを今一度点検し遵守することが防疫のポイントといえます。特に従業員の数が多い農場では、例外なく一人一人が防疫ルールを守り、農場への豚熱侵入防止に努めてください。

特定症状

- ア 40以上の発熱、元気消失、食欲減退
- イ 便秘、下痢
- ウ 結膜炎(目やに)
- エ 歩行困難、後肢麻痺、けいれん
- オ 削瘦、被毛粗剛、発育不全(いわゆる「ひね豚」)
- カ 流死産等の異常産の発生
- キ 血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紫斑、天然孔からの出血、血便



(出典：農林水産省 HP)

(西部家保防疫課 伊勢係長)

カラス対策 Q & A

カラスによる畜産被害によりお困りの方は多いのではないのでしょうか。一口に畜産被害と言っても、牛体や乳房、子牛への攻撃などの直接被害の他、死体や後産に群がる、飼料盗食、病原体伝播など、カラス被害は実に多岐にわたり、畜産農家にとってはこの上なく厄介な存在ですよね。



さて、畜舎周辺でよく見かけるのは肉食傾向の強いハシブトガラスです。ハシブトガラスは優れた視覚と聴力を持ち、学習したことを1年以上記憶できることがわかっています。一方、嗅覚や味覚は未発達なのでにおいや味を利用した忌避効果はあまり期待できません。また、畜舎への飛来は秋～冬が最も多く、3月の営巣の時期から次第にその頻度が落ち、7月の巣立ち時期には年間の飛来数が最も少なくなります。さらに、巣立ちが始まる6月から飛来が再び増え始める9月ごろは親ガラスの攻撃性が増すので刺激をしないよう要注意です。

カラス対策はカラスと人間の根比べです。これらカラスの生態を理解したうえで対策を継続することが重要ですので、以下のQ&Aがその一助となれば幸いです。

Q. テグスが良くないと聞いたのでやってみましたが、すぐに切られてしまいました。何度もやるのは時間の無駄だと思うのですが、良い方法はありませんか？

A. すぐ切られるということは、カラスがそこを通りたい、そこに留まりたいという証拠です。良いポイントを掴みましたね。何度もやるのは無駄ではありません。テグスは2本、3本と不規則な間隔で張ってください。ランダムに複数張ってください。カラスが諦めるのが早くなります。

Q. 黄色いネットがカラス除けになると聞いたことがあるのですが、どんなものなのでしょうか？

A. カラスは目が良いので何か刺激になるのでしょうか。カラスのエサとなるものが露出しないことが先決ですので、折角やるのでしたら完璧に覆うようにしてください。破れにも注意して少しでもほつれたら補修・交換してください。

Q. 磁石を吊るしておくとかラスやハトが寄ってこないという話を聞きますがどうでしょうか？

A. 家庭のベランダに吊るしたところ、効果があったという報告があります。試しにやってみたらいかがでしょうか。ただ、家庭のベランダでも5～6個の磁石が必要なので畜舎となると何個要るのか・・・。

(西部家保環境課 稲畑課長)

獣医学生が家保業務を体験

6月6日から10日の間、岐阜大学6年生が、また7月4日から8日の間、岡山理科大学5年生がそれぞれ5日間、西部家保にて行政体験研修を行いました。

二人には、牛や豚、鶏の採血や解剖の見学、繁殖検診などの現場の業務に加え、細菌や病理、生化学検査といった検査室内での業務などを体験していただきました。一つ一つの業務に対し、本人たちの学ぶ意欲は高く、有意義な研修となったことと思います。

業務のスケジュールの関係から、獣医学生それぞれに対し同一の研修内容を組むことは難しいのですが、今回特に、牛の直腸検査や簡易放牧巡回に関しては貴重な体験になったのではないかと思います。

このような場を獣医学生に提供いただき、専門的知識・技術を丁寧に教えてくださった畜産農家の皆様のご協力に深く感謝いたします。

ここで研修を受けた獣医学生の中から、将来本県に就職してくれる人がいれば、私たちとしてはこれほど嬉しいことはありません。二人の今後のご活躍を期待しています。



獣医学生行政体験研修の様子(左：牛の繁殖検診 右：豚の採血)

(西部家保 池上次長)

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生 豚熱 (法定伝染病)

(7月25日現在)

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備 考
83	7月23日	栃木県那須烏山市	一貫	約56,000頭	ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定しない
	関連農場	同上	繁殖	81頭	-

県内における野生いのししの豚熱 PCR 陽性事例 (令和4年4月以降)

(8月3日現在)

事 例	発生状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	5月31日	氷見市神代地内	成獣	雄
2	捕獲	6月24日	高岡市境内地内	成獣	雄
3	捕獲	6月24日	高岡市境内地内	成獣	雄
4	捕獲	7月8日	高岡市福岡町	成獣	雌
5	捕獲	7月12日	高岡市福岡町	成獣	雄
6	捕獲	7月28日	小矢部市屋波牧地内	成獣	雄

【参考】令和元年7月30日以降の検査結果

(単位：頭)

区分	陽性	陰性	計
死亡いのしし	23	3	26
捕獲いのしし	63	1,092	1,155
合 計	86	1,095	1,181

県内の主な家畜伝染性疾患の発生

病 名	畜 種	発生日	戸 数	頭羽数	備 考
牛マンヘミア症	牛	6月13日	1	1	
豚丹毒 (届出伝染病)	豚	6月17日	1	1	と畜場発見
		6月27日	1	1	
		6月30日	1	5	
		7月4日	1	3	
		7月25日	1	1	
牛パストツレラ (マンヘミア) 症	牛	6月21日	1	1	
牛パストツレラ症	牛	6月27日	1	1	
鶏大腸菌症	鶏	7月5日	1	3	
		7月28日	1	2	
鶏の豚丹毒菌感染症	鶏	7月12日	1	3	
山羊の消化管線虫症	山羊	7月20日	1	1	

第63回全国家畜保健衛生業績発表会への選出演題決まる

6月15日～29日、第63回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会が書面審査にて開催されました。その結果、本県代表として、東部家保防疫課 中村主任の発表演題「管内公共預託牧場における牛伝染性リンパ腫検査体制の整備」(詳細は本誌第633号4ページ)が、全国発表会に選出されました。

審査では、「公共牧場での本病の感染防御は全国的に重要な課題となっている中、清浄化維持の一連の取り組みと改善をまとめてある価値のある発表であり、全国発信に値する」と高く評価されました。

第63回全国家畜保健衛生業績発表会は、令和4年9月29日(木)及び30日(金)、東京都銀座ブロッサム中央会館にて開催予定です。(西部家保環境課 稲畑課長)

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	8月25日	北陸三県家畜市場 (金沢市)

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/index.html
 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電 話 (076) 479-1106 F A X (076) 479-1140
 編集者 稲畑 裕子 (富山県西部家畜保健衛生所)